



Vol.
72

<発行> 医療法人中山会 新札幌パウロ病院

<編集> 広報委員会

<発行日> 平成 27 年 6 月 10 日

〒004-0002 札幌市厚別区厚別東 2 条 6 丁目 4-1

TEL(011)897-4111・FAX(011)897-4114

www.byo-in.com / メール paulo@byo-in.com

「患者さんの目線」で
優しい医療を

- <基本方針>
- ・患者さんを自分の肉親と思う精神で接します。
 - ・良質かつ適切なサービスの提供に努めます。
 - ・愛され信頼される病院を目指します。



満開のパウロの桜(5月・パウロ病院敷地内)

老人病棟に春が来た

—理事長さんは泣き虫—

会長／中山修子



『明日のことまで思い煩うな。明日のことは、明日自ら思い煩わん。』

この聖句に支えられ、患者さんとの一日一日を大切に過ごしてきた中山会長が、平成8年10月、これまでの思いや感じてきた事を綴った一冊の本『老人病棟に春が来た』を出版しました。

このコーナーでは、その中からシリーズでエッセイをご紹介します。

初夏の宝石

花冷えといわれる肌寒い五月を過ぎると、札幌には、ライラックの甘い香りが漂い始めて、春から初夏へと移り変わっていく。

木々の葉が一日一日緑の色を深めて、瑞々しい若葉が生氣漲る青葉へと変わっていく…。街中が緑に染められて、目も心も和まされる…。私は、四季を通してこの季節が一番好き…。もし死ぬとき、季節を選べるなら、こんな季節がいいかなと心の中で思っているのだけれど……………。

毎日毎日、仕事先と家との往復で、自然の移ろいを見過ごしていることもあるが、アカシアの香りに誘われて、この間、真駒内の自宅の側のポプラ並木を散歩した。道路の真ん中に小さな川が流れて、川を挟んで両側の街路樹が、ポプラの巨木やアカシアの白い花、桜の木が並ぶ美しい並木通りになっている。

ふと立ち寄った果物屋の店先で、思わず立ちどまって見とれてしまった桜んぼ。見慣れたリンゴやみかん、外国産のパパイヤ、マンゴウ、キウイにパイナップル、メロンにバナナに西瓜。まるで美人コンテストのように磨かれて鎮座ましまし、澄まし顔で並んでいる。

そんな中で、真っ赤な桜んぼが、透明のプラスチックの宝石箱のなかで輝いているのだ。それは、ほんとうに口に入れて食べることなどできない風情で、初夏の宝石、大粒のルビーのようだった。

アメリカ産の赤紫色のサクランボもあるが、この季節のは、やっぱり赤く輝く可憐な桜んぼでなくてはね!? 食べなくてもいい、眺めているだけでいい。それだけで十分、心も目も満たされて、爽やかな初夏を満喫することができた。

——「見るだけで満足されちゃ困るんですね、お客さん!!」。店の主人の声が聞こえないうちに退散だ。

さしずめ、今日の“ミス果物”は、なんてったって「桜んぼだな!!」。



6病棟、7病棟の改修工事が完了。
 ならびに増改築に伴い、
 一部病棟名が変更になりました。

6病棟が1つ上の階へ7病棟として引越しし、4病棟が新たに6病棟として稼働する事となりました。

引越しをした患者さん達からは、綺麗な部屋で過ごせると、とても喜んで頂いております。

病室は新棟同様、壁に珪藻土を使用。匂いや湿度対策も万全にしました。

部屋はもちろん、廊下の床もクッション性の高い素材を使用することで、柔らかな歩き心地を実現しました。また、随所に木目を使用し、暖かみのある病棟に仕上げています。さらに個室も整備し、広く開放的な部屋や、トイレ付きの部屋など、できるかぎり患者さんのご要望にお応えしました。



木目調にリニューアルした病室廊下



談話スペース



既存棟の病室内(部屋タイプ例)

今回で病棟の改修工事ならびに引越しが全て完了したため、増改築に該当した一部の病棟名が下記の通り変更となりました。

- ・ 4病棟 → 6病棟
- ・ 6病棟 → 7病棟
- ・ 8病棟 → 4病棟
- ・ 9病棟 → 5病棟

変更の際しましては、患者さん、ご家族の皆様のご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

増改築後 病棟フロア配置図



当院基本理念、「患者さんの目線で優しい医療を」を実践するとともに、今まで以上により良い医療と、より良い環境を患者さん、利用者さんへ提供するべく、職員一同、努力してまいります。



じゃがいもの植え

5月、パウロ病院の中庭にて、患者さんと病院スタッフが、恒例イベント「じゃがいもの植え」を楽しみました。青空広がる中庭で、みんなで外に出て土に触れ、楽しく植えをしました。10月に行われる「秋の収穫祭」が楽しみです。



今復の行事予定

※写真は昨年の様子です。

6月

のど自慢大会



7月

パウロ夏祭り



8月

パウロ花火大会





北海道文教大学より、看護実習生を受け入れ



5月より当院に、北海道文教大学のご依頼で、人間科学部看護学科の生徒、24名の皆さんが「老年看護学」の実習に来ています。

約3ヶ月間、3グループ3回に分けて生徒の皆さんが各病棟で日々、実践研修を受けています。

この実習の目的は、「疾患や障害を有している生活者としての老年者に対して、生活機能の観点から看護過程の展開を実践しながら、看護の専門職業人としての自覚を持ち、看護観や人間観についての考察を深める」というもので、患者さんの入院療養生活における病室の環境づくりにはじまり、食事・排泄介助や一日の活動を援助するトータル的な技術の習得など、67に及ぶ項目内容を実習しています。

当院では皆さんに、誠実さと積極性を持つよう指導すると共に、多くの方々に感謝しながら実習



できる内容と環境を用意。

また、生徒の皆さんが実習に来て下さっていることで、現場でも技術の再確認や意識の向上にもつながる相乗効果が出ていると思います。

院内研修に石垣靖子さんを迎え、「終末期医療講演会」を開催。

道内でホスピスケアの先駆として、各地で講演会や執筆など、多忙な活動を行っている、現在、北海道医療大学大学院教授の石垣靖子さんを招いて、「終末期医療」の研修が院内ホールにて行われました。

緩和ケアについて、その本質と目標を具体的に講話。また、看護現場や施設での具体的な事例をあげ、患者さんの尊厳を伝えて下さいました。

当院理念「患者さんの目線で優しい医療を」を、改めて心に刻む講演会となりました。



平成27年度

パウロにっこりクラブ開催スケジュール

新札幌パウロ病院は、昭和57年開院以来、地域の皆様に支えられて参りました。平成19年より地域の皆様に『何かお役にたてる事が出来れば。』との思いから、皆様との“ふれあい”を大切にする活動を進めるため、パウロにっこりクラブを設置しました。今年も多く地域の皆様との交流をはかります。

第5回 にっこりクラブ

講座内容：①公開講座 / 講師：須藤まゆみ（看護部副部長）



テーマ：『熱中症の予防と対策』

— 今年の夏も元気に過ごしましょう —

今年は、例年より早く夏日が続いています。これから迎える本格的な夏に向け、熱中症について情報満載でおおくりいたします。



②健康体操

理学療法士による、ご家庭でもお手軽にできる体操をみんなで楽しく行っていただきます。

日時：7月22日（水） 14時～15時

場所：新札幌パウロ病院1階 礼拝堂

参加費：無料 ※ご参加の皆さんには、血圧測定を行っております。

どうぞお気軽にご参加ください。

<お問い合わせ>

新札幌パウロ病院 TEL:011-897-4111 担当：事務部 本（もと）

第4回 にっこりクラブレポート

4月21日、第4回にっこりクラブが開催されました。

テーマは『血圧とコレステロール～今、できること』。

当院、小野医師による生活習慣病である高血圧、脂質異常症（高脂血症）の「予防」、「検査結果の見方」、「対策」について講座を行いました。会場を埋めつくすほどの多くの地域の皆さんがご参加くださいました。





いいはな



薬剤科科长 後藤勝博

私が入職してから数日後、「NP」マークの付いた新しい制服が支給されました。制服を着るのは9年ぶりです。着替えた後、院長先生とすれ違った折、院長は右袖の「NP」マークを指して「おお、きたね！」と、声をかけて下さいました。

その時、ある記事を思い出しました。

一冊の専門誌に目を通していたとき、なぜか私の心を惹きつけるものがありました。それは、ある薬剤師の講演会の内容でした。

『夜道を女性が一人で家に向かっていました。周りは人影もありません。まもなく男性が一人こちらに向かって歩いてくるのがわかりました。その時、女性はどのような気持ちでいたでしょうか？「どうしよう」、「心配する」、「不安に思う」などと思います。

だんだん距離が近づき、その男性が警察官の制服を着ていたことがわかりました。

その時、女性の気持ちはどうだったでしょうか？「ほっとした」、「安心した」ことと思います。

この様に、制服には「人を安心」させる力があるのです。皆さんがいつも着ている白衣は、皆さんの制服です。患者さんは、白衣姿を見て「安心」、「信頼」し、話を聞いてくれ、話をしてくれるのです。たとえ初対面の人であってもです。皆さんは、この制服の意味に反することはしてなりません。この「信頼感」を保つためには日頃の努力が大切です。』
という内容でした。

制服着用については、種々の目的や思いがあります。

でも、共通することは、制服を着て人と接する時などは、その職場の代表であると思います。

毎日、私たちが何気なく着ている制服には、人としての「教養」や「マナー」、専門職としての「学問」や「技術」の向上など、色々なことが集約されているのではないのでしょうか。

当然、『患者さんの目線で優しい医療を』との当院の基本理念もです。

食べることは楽しみのひとつ。しかし、年を重ねるごとに、食欲が落ちたり、食べる量が減ったり、食べやすいものに偏ったりと、食生活に問題が起きてきます。健康寿命を延ばし、口から楽しく食べる！ことを目的に高齢者の食の特長やそれぞれのタイプに合わせたレシピや工夫を紹介します。

水を飲むことが苦手という方に。のど越しのよいゼリー



お茶ゼリー

【材料】

ほうじ茶 …………… 500cc ※お好みのお茶をご用意ください。
ゼリーメイト …………… 15g
砂糖 …………… 5g

【作り方】

- ① …… ほうじ茶は85℃以上（白い湯気があがる程度）温める。
- ② …… ①のお茶にゼリーメイト・砂糖を入れ泡立器で混ぜる。
- ③ …… ②をタッパなどに入れ、冷やし固める。

《ゼリーメイトとは》

カラギーナンが主成分の室温で固まるゼリーの素です。ゼラチンと寒天の中間の口当たりで市販品では、アガーなどが類似品となります。

《注意》

作ったゼリーは24時間以内に食べて下さい。

第2回 高齢者の脱水症状

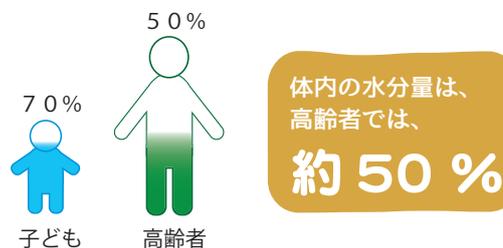
高齢者は、脱水症になりやすいといわれています。

※脱水症を起こしやすい要因（下表1）

脱水症の予防には、水分摂取のポイント（下表2）を取り入れ、食事でも水分の多い物を選択することが大切です。

最近では、様々なタイプのスポーツドリンク、経口補水液などがあります。しかし、糖分が多いものなどもありますので上手な選択を行いご使用ください。

脱水の症状は… 皮膚や口唇、舌の乾燥、皮膚の弾力性低下、微熱、食欲低下など



高齢者が脱水症を起こしやすい要因（表1）

- ・ 体内の水分量の減少
- ・ 食欲不振、嚥下障害からの水分摂取量の減少
- ・ 体調不良での下痢や嘔吐などによる水分の排出
- ・ 喉の渇きを感じる口渇中枢機能の衰え
- ・ 夜間のトイレを避けるために水分摂取を控える

水分摂取のポイント（表2）

- ・ いつでもすぐに飲めるよう、手元に飲みものを置く
- ・ 食事以外にお茶などを飲む定期的な時間を作る
- ・ 食事に必ず汁物をつける

無料送迎バスのご案内

▼新札幌パウロ病院行き ◎13:15発の便は、土・日・祝日は運休

地下鉄 新さっぽろ駅 9番出口発	8:50	新札幌 パウロ病院着	9:00
	10:20		10:30
	◎13:15		13:25

▼地下鉄新さっぽろ駅行き もみじ台経由、新札幌の交番前下車

新札幌 パウロ病院発 (病院裏駐車場)	11:30	地下鉄 新さっぽろ駅着	11:50
	15:00		15:20
	19:30		19:50



交通事情などにより到着時間が変動する場合がございます。ご利用の際は、あらかじめご了承ください。